

---

# バカとアイドルと召喚獣

s h u n

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バカとアイドルと召喚獣

### 【Nコード】

N3087Y

### 【作者名】

shun

### 【あらすじ】

初作品です。バカとテストと召喚獣とアイドルマスターのクロス小説です。明久と春香を幼なじみという設定でいこうと思います。ちなみに明久もアイドルということにしました。

## プロローグ(1)

side Akihisa

春香「明久、今日の振り分け試験大丈夫そう？」  
と、幼なじみの春香が聞いてきた。

明久「うん、大丈夫だよ。たぶんAクラス入りはできるんじゃないかな？」

春香「そっか。それは勉強を教えたかいたがなかったかな。3ヶ月であれだけやったんだからね。」  
と春香が言っていたように僕は3ヶ月前から春香に勉強を教えてもらっていた。

さかのぼること3ヶ月前

明久「春香っ！ 僕に勉強を教えて！」

春香「いきなりどうしたの？」

明久「このままいったら二年生で春香と同じクラスになれないって思ったからかな。だって春香とは一緒に居たいし。」

春香「なっ／＼」

ドンズ Teen

明久「春香？ 大丈夫？ 僕、変なこと言った？」

春香「いや別に何も。ちょっとびっくりしただけだから大丈夫。：

全く明久ったらそんな恥ずかしいことを言っちゃって、まあ嬉しいんだけど……」

明久「春香？本当に大丈夫？」

春香「ふえっ？ あ、うん、大丈夫。えっといいよ勉強教えてあげる。」

明久「本当っ！？ ありがとう春香。」

春香「でも私も明久も仕事があるからその合間や家に帰ってきてからになるけど大丈夫だよな？」

明久「うん、大丈夫だよ。」

春香「それじゃ早速今日から始めますか。 ビシバシいくからがんばってね。」

回想終了

明久「いや〜 きつかったけど春香のおかげでだいたいの問題に対応できるようになったからね、本当に助かったよ。ありがとう、春香。」

春香「お礼は同じクラスになってからでいいって。」

僕がお礼を言うと春香は今はまだ早いと言った。でも、今の僕なら大丈夫だろう。と、そんなこんな話しているうちに学校についたようだ。

（試験会場前）

春香「それじゃ私はこの教室だから。」

明久「うん。僕、がんばるからね。」

春香「明久なら大丈夫だよ。今までやってきたことをだせばいいんだから。」

明久「そうだね。うん、がんばってくるよ！じゃあまた後でね、春香。」

春香「うん、後で。」

こうして僕は自分の試験会場に向かっていった。

明久「よし、がんばるぞ！」

続く

## ブログ(1)(後書き)

初めまして。

Shunです。

何となくクロスさせたいなと思ってやってみました。更新はあまり早くないかもです。

質問や意見があれば遠慮なく言ってください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3087y/>

---

バカとアイドルと召喚獣

2011年11月7日05時06分発行